

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*旧図書館の雑BOX-③の乾板について(流星写真儀)**

天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台に残された写真乾板の整理を行っている。旧図書館に保管されている天体写真乾板については S 君が整理を行っており、この整理の中で天体写真以外の雑乾板について筆者が引き受けデジタルデータとして取り込むことを進めている。今回は写真乾板の箱「雑BOX-③」と書かれた乾板箱に入っていた写真乾板20枚の内の4枚についての報告である。写真1が入っていた箱の写真である。



写真1 雑BOX-③の箱

この4枚は、4連流星写真儀の写真である。膜面の状態は極めて悪いが、カメラの様子は分かる。この4枚の写真のサムネイルが写真2である。



写真2 雑BOX-③の流星写真のサムネイル

流星写真儀が、現在天文機器資料館に展示されているが、この写真に写っているものとは違うように思われる。筆者の知る流星写真儀の一つは、現在、国立天文台の南東の一角にある東京大学理学部天文学教育研究センターの場所にあったものと、堂平観測所にあっ

たものの二つである。

写真 3 が、現在、天文機器資料館に保管展示されているものである。カメラは 4 連であり、その前のセクターが回転するようになっている。

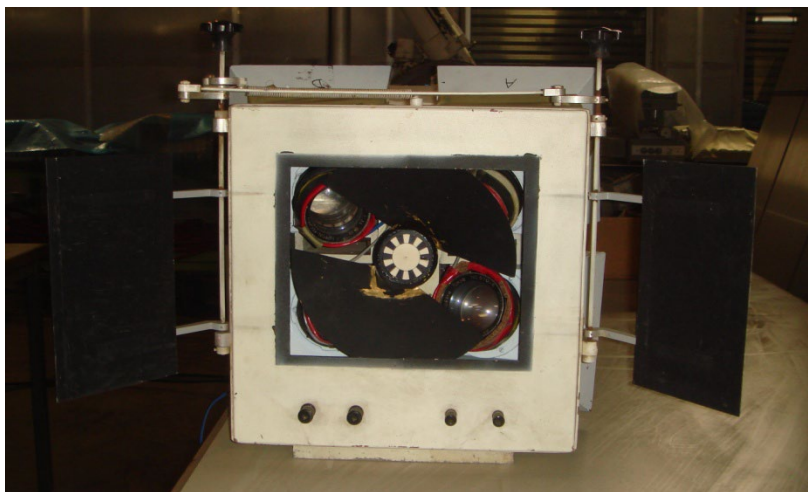


写真 3 天文機器資料館に展示されている流星写真儀

写真 4 は、その後ろの乾板取り枠部分である。乾板はキャビネ版が使われた。



写真 4 流星写真儀の乾板取り枠部

雑 BOX-③に写っている流星写真儀は、カメラ部が写真 3 のような箱に入ってはならず裸である。また、この流星写真儀のセクターは光の通る部分が狭い隙間になっているが、今回の雑 BOX-③に写っている流星写真儀のセクターは、この逆に光をさえぎる部分が羽になっている（写真 5）。

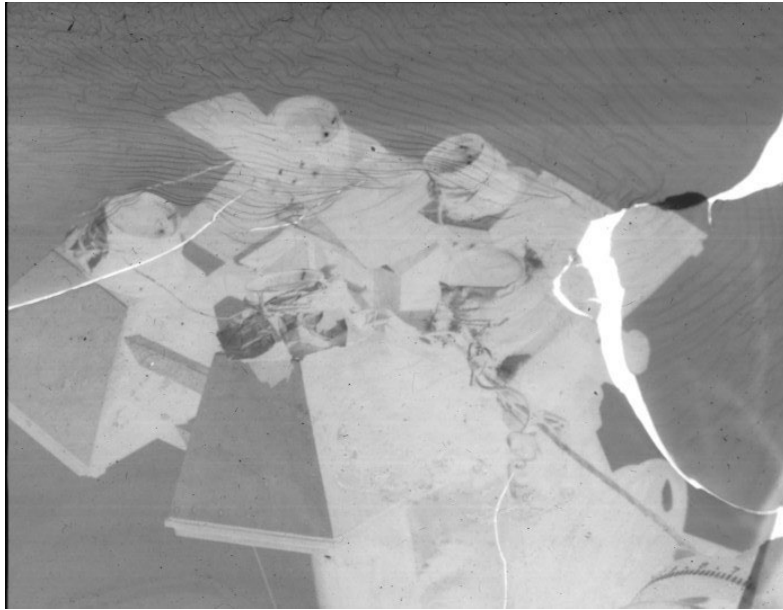


写真5 セクターの羽部分が狭いプロペラ状になっている

写真5の乾板の状態は極めて悪く、白黒が反転した状態で読み込まれている。膜面の剥れがひどい状態であるが、それでも流星写真儀の様子はよくわかる。この写真のトリミング前の写真が写真6である。



写真6 膜面の状態が非常に悪い写真、3-19

サムネイルの3-17が流星写真儀の全体をよく表した写真7である。この写真で分かるようにこの流星写真儀は赤道儀に載せられており、セクターを廻すモーター、シャッターの制御装置のようなものも写っている。また、流星写真儀の向いている写野を確認する望

遠鏡も見える。

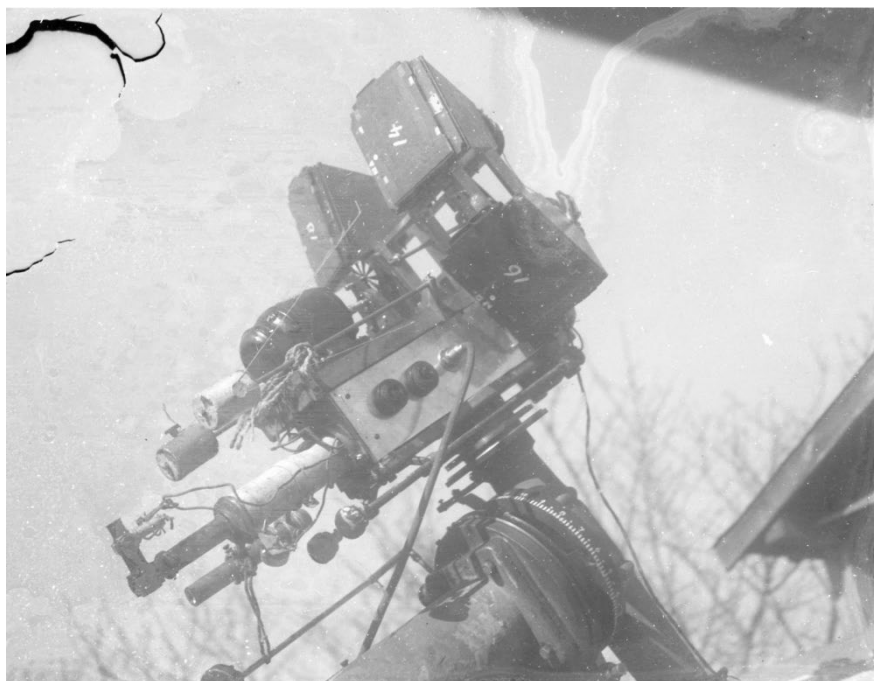


写真7 流星写真儀の全体の様子分かる写真  
他の2枚の写真も紹介しておく（写真8、写真9）。

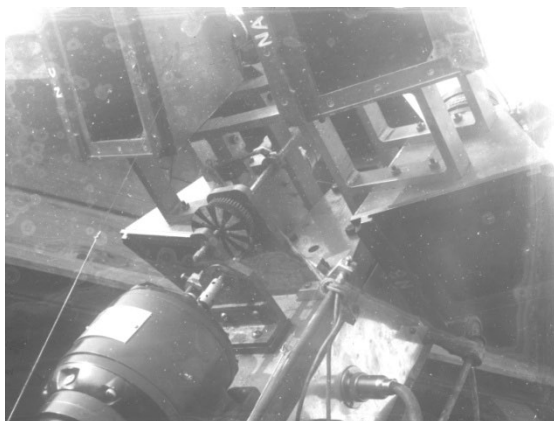


写真8



写真9

写真8、9には、セクターのモーター、その原則装置などが写っている。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)